

3)令和5年度認知症地域支援体制づくりの状況

(令和6年3月現在)

地域包括 支援センター	認知症カフェ(カ所) ※1	認知症サポーター 養成講座(回)※2	SOS 見守りネットワー ク登録件数(件)※3
健楽園地域包括 支援センター	1	4	45
地域包括支援 センターなえづ	3	1	16
地域包括支援 センターつくし	1	0	16
永寿荘地域包括 支援センター	1	1	20
地域包括支援 センターかたりあい	3	3	45
鶴岡西地域包括 支援センター	2	1	28
地域包括支援 センターふじしま	3	0	10
地域包括支援 センターはぐろ	1	3	12
地域包括支援 センターくしびき	1	5	12
地域包括支援 センターあさひ	1	2	5
地域包括支援 センターあつみ	1	1	6
合計	18	22	215

※1 地域包括支援センターエリア内での開催数であり、運営主体は市・民間等も含む
感染症対策等により休止中の認知症カフェも含む

※2 令和5年度実施実績：つるおかオレンジサポートの会等の実施も含んだ件数(法務局、担い手
養成研修等の広域対象分は除く)。第3中学校は、健楽園となえづとの合同開催にて各1回と
計上。

※3 令和6年3月現在の『SOS見守りネットワーク「ほっと安心」つるおか』登録者状況

認知症高齢者の増加に伴い、認知症について理解を深め、認知症の人や家族が思いや情報を共有
し合う場づくりを推進することは、今後ますます重要となる。

認知症カフェや認知症サポーター養成講座は、市民やグループホーム、企業などの各団体が運営
主体になっているところもあり、地域によって異なる状況である。

各地域包括支援センターには、国の研修を受講し認知症地域支援推進員を兼務している職員が
おり、本市および担当エリアの認知症施策の推進のために活動している。